

# ニュースを問う

## 風化とたたかう 第3部

支え合う仲間 中

誰かのために、街頭に立つて署名活動をする。2004年9月に愛知県豊明市で起きた母子4人殺人放火事件（豊明事件）の遺族天海としさん（62）にとつて、そんな経験をした初めての相手が、磯谷富美子さん（73）だった。

### 死刑求めて署名活動

磯谷さんは2007年8月に名古屋千種区で起きた強盗殺人事件「闇サイト事件」で、一人娘の利恵さん（当時31）を奪われた。犯罪仲間を募る闇サイトで出会った3人の男らは無差別に「標的」を探し、帰宅途中だった利恵さんをたまたま見つけて車で拉致して監禁。現金やキャッシュカードなどを奪って殺害し、遺棄した。利恵さんは極めて残忍な暴行を受けた末に命を落とした。

被害者が1人だと死刑にはならない、という日本の司法の「量刑相場」を知って、磯谷さんは愕然とした。3人の死刑を求めて懸命に署名活動を続けた。娘のために正義を訴えて闘う姿に、天海さんは心を打たれた。自身も妹と、わが子同然だった妹の子ども3人の命を無残に奪われた。「メガホンで訴える磯谷さんの声を忘れられない。母の執念ともいえるべき意思を感じて、自分も奮い立たされた」。役に立たなくて、何度も一緒に街頭に立った。

磯谷さんは後に、天海さんと同じ殺人事件遺族の会「宙の会」に入り、豊明事件のヒラ配りにも参加してきた。「署名活

# 母の熱い思い 耳傾けて



加藤 美喜 (編集委員)



闇サイト事件で殺害された一人娘利恵さんの写真を前に、事件を風化させたくない思いを語る磯谷富美子さん。宙の会で天海さんとともに活動している名古屋市内で。

たった強盗殺人事件の犯人と分かったら、逮捕、起訴され、死刑判決を受けた。結局3人を殺めていた堀死刑囚に対し「更生可能性」を選択した二審への不信感、磯谷さんに今も強く残る。国際的な流れは死刑廃止の方向にある中、磯谷さんは3人の極刑を求めて33万人を超える賛同署名を集めた。娘の命を奪った3人のうち、結果的に2人に死刑判決が下った。

### 屈せず闘った娘 語る

磯谷さんは今、事件の風化を危惧している。講演に行くこと、事件を知らない人たちがいる。闇サイトに群がる若者は後を絶たない。「娘の死が無駄になつたような気がする」とも漏らす。

これまでに全国で100回を超える講演をしてきた。娘の受けた生々しい暴力や、遺体と対面した時の痛切な描写も含めて、語り続ける。「事件は娘のむごい姿につながるから忘れない」との気持ちがある一方で、酷な記憶をあえて語るのには、「娘が生きていたこと、恐怖のさなかでも脅迫に屈せず闘った娘のことを、忘れないでほしい」と思うからだ。利恵さんは暴力に耐えながら犯人たちに、キャッシュカードの暗証番号を伝えた。幼い頃に父を亡くし、母と2人で生きてきた。

大好きな母にマイホームをプレゼントするためにためたお金を、命懸けで守った。天海さんも、妹と子どもたちの生きた証しを伝えるために、壇上に立つてきた。「事件を語るにはエネルギーがいる。既に深く傷ついた身を、さらに削ら

だつた強盗殺人事件の犯人と分かったら、逮捕、起訴され、死刑判決を受けた。結局3人を殺めていた堀死刑囚に対し「更生可能性」を選択した二審への不信感、磯谷さんに今も強く残る。国際的な流れは死刑廃止の方向にある中、磯谷さんは3人の極刑を求めて33万人を超える賛同署名を集めた。娘の命を奪った3人のうち、結果的に2人に死刑判決が下った。

豊明母子4人殺人放火事件の情報提供は、愛知県警察捜査本部 電話0561(39)0110(代表)へ。

れる覚悟がある。それでもあれだけの講演を行い、利恵さんが闘った姿と犯人の罪を訴え続ける磯谷さんの強さを、心から尊敬する」と話す。

私自身も磯谷さんの活動に触れ、小柄な体に宿る意志の強さや凛とした姿に敬意を抱いてきた。講演を聴いて、思いの確に言語化できる人だと感じる。気持ちや言葉にできない遺族も多い中、磯谷さんや天海さんは、社会に伝える言葉を懸命に探してきたのだらう。磯谷さんは「感情だけをぶつけてはいけない。理にかなった言い方をしないといけない。何度も書き直して、一人でも多くの人に伝えたいと願ってきた」と語る。

磯谷さんは警察官の士気にも触れ、堀死刑囚が起した碧南市の強盗殺人事件を解決した当時の愛知県捜査員たちは「遺族に近かったと思う」と話した。「遺族と何度も接することで、思いを感じてもらえるはず」

遺族の話や聞くことは、警察官だけでなく記者にとつても重要だと信じる。熱い気持ちの人が伝わり、人を動かしていく。そんなつながりや関係性が広がる、社会の力で事件を解決することを願う。

遺族の話や聞くことは、警察官だけでなく記者にとつても重要だと信じる。熱い気持ちの人が伝わり、人を動かしていく。そんなつながりや関係性が広がる、社会の力で事件を解決することを願う。



連載「風化とたたかう」の過去の記事はこちら